

説明文書（当事者・患者様用）

研究課題名：健常者および精神神経疾患患者における脳 MRI と認知機能の関係

1. 検査の目的および方法

この研究は、これまでに明らかにはされていない脳の形態と精神神経疾患との関係を、近年飛躍的に技術が進歩してきている MRI を使って調べるためのものです。さらに、精神神経科患者さんの認知機能（こころのはたらき）の特徴と脳の形態との関連についても調べていきます。MRI は磁気を利用して体の内部や脳などの形態情報を写真として見られるようにする検査で、通常のレントゲンや CT よりも詳しい形態情報が分かります。

研究に協力して頂くためには MRI 検査と面接・心理検査が必要になります。担当医師と 40～60 分程度の面接をした後に、頭部 MRI 検査を受けて頂きます。検査中は機械の音がうるさくないように耳栓をして検査台の上で横になって頂きます。検査の時間は 30 分ほどで、その間は出来るだけ動かないようにして頂きます。心理検査については心理検査担当者と面談形式で行います。60 分程度かかります。また、東京大学医学部附属病院精神神経科で診療を行った患者さんについては、診療中に得られた臨床情報や検査結果をあわせて解析および考察することがあります。

本研究で撮影した画像は研究を目的とするものであり、正確な診断には適さない画像であるため、あなたの健康上の問題に直接かかわる情報が得られることはほとんどありません。ただし、画像を確認した医師が、今後精査が必要と思われる所見を見つけた場合には、あなたにその旨をお伝え致します。なおその際、新たに医療機関を受診した場合の費用等については、あなたご自身のご負担となることをどうぞご理解ください。

2. 予想される危険と不快

MRI 機器は磁気を発生しますが、それによる人体への副作用や害は全く認められておらず、医療の場で広く行われている安全な検査です。CT などと違って、放射線被爆もありません。ただし、過去に大きな手術などを行っている場合に検査を受けられない場合があるので、その場合にはご相談ください。また、磁気が発生している関係で、検査の際にはアクセサリーや時計のような機械類、テレフォンカードなどの磁気カード、義歯などをはずして頂きます。

3. 検査に同意しない場合であっても不利益を受けないこと

この検査はあくまでもこちらからのお願いですので、協力して下さるかどうかは皆さんの自由です。もし協力して下さらなくても今後の治療には一切差し支えありません。

4. 検査中でも随時辞退できること

一旦同意した後でも、申し出ていただければ、検査を中止することができます。

5. 被検者のプライバシーの保護、秘密保持の件について

検査と面接で得られた情報は匿名の形で多数のデータの一部として、学会発表・論文発表などの限

られた場でのみ使用させていただきますので、プライバシーの保護と秘密保持の点での心配はありません。

平成 年 月 日

東京大学医学部附属病院 精神神経科

担当者 職・氏名：

印